

ETFは世界中で6,053銘柄以上が上場され、機関投資家・個人投資家の双方に活用されており、その規模は3.3兆ドル（約346兆円）を超えています。

ETFは株式市場で株式のように取引される一方で、上場「投資信託」であり、投資信託としての資金の出入りが日々発生**しています。世界中で様々な投資家が利用しているETFの資金流出入は、世界の投資家の動向を探る上でも有用な情報になると考えられます。

当レポートでは、世界のETFの資金流出入の状況をまとめ、それらから見えてくる世界の投資家動向についてご紹介していきます。

*ETF(Exchange Traded Fund)のほか、ETN(Exchange Traded Note)、ETC(Exchange Traded Commodity)、ETI(Exchange Traded Instrument)等の上場金融商品を含みます。

**ETF独自の「設定／交換」と呼ばれる現物バスケットと受益権の受け渡しによりETFへの資金流出入が発生します。（すべてのETFが現物での設定／交換を行うわけではありません）

2016年10月のETF資金流出入

2016年10月の資金流入は186億ドルと、これまでの流入と比べややペースが落ちました。流入の内訳は米国株式ETF、新興国株式全体型ETF、米国を除く先進国株式全体型ETF、そして米国物価連動国債ETF*が牽引しました。

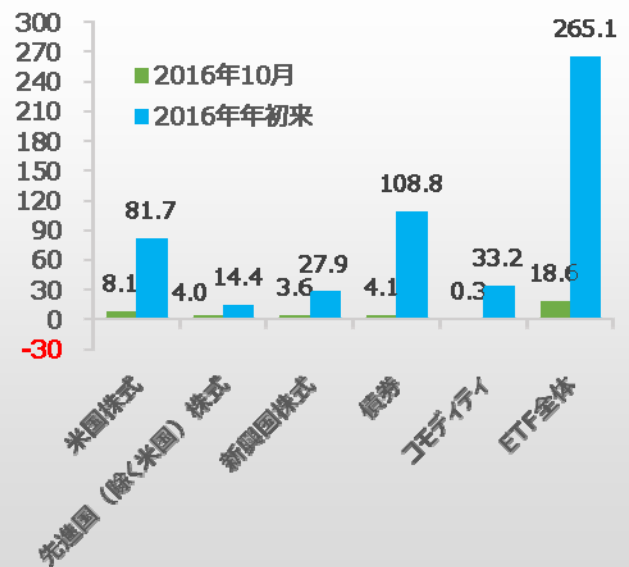
米国株式ETFは好決算やM&A関連のニュースにより大型株に75億ドルの流入が見られましたが、FRB（連邦準備制度理事会）による年内の利上げ予想が強くなり、金利上昇の影響を受ける米国不動産株式ETFからは21億ドルの流出となりました。新興国株式全体型ETFは中国の経済指標の改善により34億ドル、年初からは291億ドルの資金流入と2010年の同月時点の記録を上回る水準となりました。

米国を除く先進国株式全体型ETFは9月の流出から反転し、21億ドルの流入、一方で凡ヨーロッパの株式は13億ドルの流出と、9ヶ月連続で資金流出となりました。

債券カテゴリー全体は41億ドルの資金を集め、年初来からの資金流入は1,088億ドルと、昨年の流入総額を超えています。米国インフレ連動債ETFに12億ドルの流入がありましたが、国債やハイイールド債ETFからは流出となっております。

金ETFおよび金鉱株ETFは、市場の価格変動率の上昇により、其々10億ドルの資金流入となりました。

【世界のETFの資金流出入（十億ドル）】

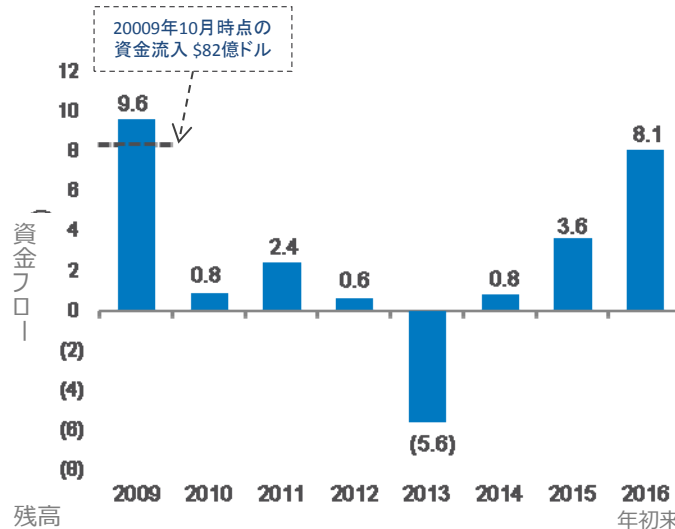


出所：「BlackRock Global ETP Landscape September 2016」

当資料は情報提供を目的として作成されたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的とするものではありません。当資料は当社が信頼できると判断した資料・データ等により作成しましたが、その正確性および完全性について保証するものではありません。また、当資料中の各種情報は過去のものであり、今後の運用成果を保証するものではなく、当資料を利用したことによって生じた損失等について、弊社はその責任を負うものではありません。さらに、本資料に記載された市況や見通しは作成日現在の当社の見解であり、今後の経済動向や市場環境の変化、あるいは金融取引手法の多様化に伴う変化に対応し、予告なく変更される可能性があります。

ETFから見る世界の投資家動向

【グローバルの米国物価連動国債ETFへの資金流入（単位：10億ドル）】



出所：「BlackRock Global ETP Landscape September 2016」

米国物価連動国債ETFは、FRBによる年内の利上げに対する見通しが一年を通じて強まると共に、年初来から安定的に資金を集めてきました。年初来からの資金流入は81億ドルと、当該ETFが最も大きな年間資金流入を記録した2009年に迫る勢いとなっています。米国物価連動国債ETFが資金を集めている背景要因について、ブラックロックの考えを以下に纏めました。

- 1) 労働市場の健全化：労働市場参加率の向上、新規失業保険申請件数の減少、そして賃金上昇の加速から将来のインフレ率が上昇する可能性が期待され、伝統的な国債よりも物価連動国債が選好されている
- 2) コモディティ価格の値崩れ懸念の緩和：原油価格の回復は需給バランスの均衡化を反映しており、物価連動国債の価格動向に対して相対的に不利な要因と考えられるデフレへの懸念の緩和が追い風として働いている
- 3) 政治的不透明感：貿易のグローバル化推進を後退させる政治情勢は、米国内でむしろインフレが惹起されやすくなる可能性を背景に、米国物価連動国債にとって有利なシナリオが想定される。

ETFの主な投資リスクについて

ETFは投資元本および投資元本からの収益の確保が保証されているものではありません。連動を目標とする指数、組入れ有価証券の価格変動、金利及び外国為替の変動等の要因によりETFの価格は変動することから、投資者は損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

ETFの価格が変動する要因や変動の大きさは、各商品及び各商品が連動を目標とする指数等により異なります。満期到来、償還、繰上げ償還、転換などによってファンドの利回りの低下を招く場合があります。特定の地域や分野に特化した投資では、一般に変動が大きくなります。物価連動国債ETFはインフレ率の低下局面では通常の債券と異なり、インフレ連動際の価格が期待通りに上昇しない場合があります。

手数料、費用等について

【売買時の手数料】 当ETFを売買する際の手数は取扱い金融商品取引業者（証券会社）等によって定められます。詳しくは取扱会社までお問い合わせください。【保有時の費用】 当ETFの保有期間中は運用管理費用等を間接的にご負担いただけます。保有時の費用の率（総経費率）は個別のETF/JDR毎によって異なり、また運用状況や保有期間等に応じて異なることからその上限額を示すことはできません。詳細は取扱い金融商品取引業者（証券会社）にてご確認ください。またiシェアーズのウェブサイト（<http://www.blackrock.com/jp/ishares>）にて当ETFに関する情報を開示しております。

iShares®
by BLACKROCK®

ブラックロック・ジャパン株式会社

iシェアーズ事業部 TEL 03-6703-4110（部代表） www.blackrock.com/jp/ishares
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第375号

加入協会／一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 投資信託協会、日本証券業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

当資料は情報提供を目的として作成されたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的とするものではありません。当資料は当社が信頼できると判断した資料・データ等により作成しましたが、その正確性および完全性について保証するものではありません。また、当資料中の各種情報は過去のものであり、今後の運用成果を保証するものではなく、当資料を利用したことによって生じた損失等について、弊社はその責任を負うものではありません。さらに、本資料に記載された市況や見通しは作成日現在の当社の見解であり、今後の経済動向や市場環境の変化、あるいは金融取引手法の多様化に伴う変化に対応し、予告なく変更される可能性があります。